

# はじめに

沖縄森林管理署長 佐藤隆幸

沖縄の皆様には、日頃から国有林野事業の管理経営にご理解とご協力をいただいていることに対しまして、感謝申し上げます。

沖縄森林管理署が所管している森林は、沖縄本島北部(やんばる)と竹富町の西表島に所在しています。その所管面積は約36.4千haで、うち沖縄本島北部に全体の3分の1の約12.0千ha、西表島に3分の2の約24.5千haが所在しています。



沖縄森林管理署の業務実施に当たっては、地域との連携を強化し、国有林野事業に対する一層の理解と協力を得ることが重要であるため、以下のような取組みを実行しています。

## 1 国有林野の管理経営

- (1) 国有林野施業実施計画等に基づき、適切な森林施業を実施するとともに、西表島森林生態系保護地域の設定区域拡大に対応し、効果的な保全管理に努めます。
- (2) 希少野生生物保護管理事業により、西表島国有林はイリオモテヤマネコ及びカンムリワシを対象に、沖縄本島北部国有林はノグチゲラ、ヤンバルテナガコガネ及びヤンバルクイナを対象に、それらの調査、保護管理の充実を図ります。
- (3) 治山事業は、自然に配慮しつつ木材需要拡大の取組みの一環として、署の治山施設に木材も利用します。
- (4) 国有林野の貸付・使用地の適正な管理に努めるとともに、漫用等の不適正使用の改善を図ります。

## 2 国民の森林

- (1) 首里城の復元・修理用の資材であるイヌマキ等を植栽した「首里城古事の森」を、古事の森育成協議会等と協力して保全管理するとともに、本活動を沖縄県民に普及することを通じ、木の文化の啓発に努めます。
- (2) 国有林を利用した森林レクリエーション等の推進、巨樹・巨木の保護管理、ボランティアを活用した森林整備を行います。
- (3) また、近年のエコツアー等による入林者の増大に対応し、西表自然休養林については、今後の利用と管理のあり方について検討を行う管理運営協議会との協力等を通じ、西表

自然休養林のリフレッシュ対策に取り組めます。

- (4) 西表島の船浦ニッパヤシ植物群落保護林は、西表森林環境保全ふれあいセンターと連携して、モニタリング調査等を行います。
- (5) リュウキュウマツの遺伝資源保存を目的としている南風見林木遺伝資源保存林は、除伐等により樹勢回復措置を行います。

### 3 地域との連携強化

- (1) 国有林野等所在市町村長有志協議会を開催するほか、竹富町議会森林・林業活性化議員連盟等関係機関が実施する会議等に積極的に参加するなど、関係機関や地元市町村との緊密な連携を図ります。
- (2) 地域の要請にきめ細かく対応した業務を行うことにより、地域振興への寄与に努めます。